

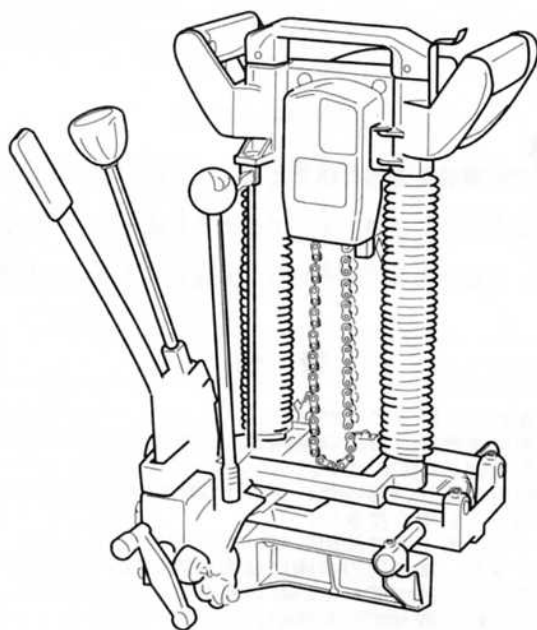
RYOBI®

チェンのみ

CM-30NA

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



—— も く じ ——

- ・安全上のご注意 1～4
- ・各部の名称 5
- ・仕様・付属品・用途・別販売品 ... 5
- ・操作方法 6～11
- ・保守と点検 12～13

このたびは、リョービチェンのみをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本体の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・機械は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - ・転倒事故を防止する為、機械周辺の床には物を置かないでください。
 - ・機械周辺の床は常に水や油で濡れていないようにしてください。水や油をこぼした場合は、直ちに拭き取ってください。
3. 電気工事は自分で行わないでください。
 - ・電源の誤配線による重傷事故を避ける為に、電気工事については電気工事士の免許のある方が必ず行なってください。
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 無理して使用せず作業に合った機械を使用してください。
 - ・安全に能率よく作業するために、指定された用途以外に使用せず、機械の能力に合った速さで作業してください。

6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・軍手など巻込まれる恐れがある手袋は、刃物交換の際に使用する以外は回転部に巻込まれる恐れがありますので絶対に着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
7. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
8. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
10. 機械は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
 - ・機械の可動部分との接触による重傷事故を避ける為に、部品交換の際には機械のスイッチを切り電源プラグを外してください。
11. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または保守、点検、修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・機械の故障、異常に対処する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
12. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
13. 不意な始動は避けてください。
 - ・プラグを電源に接続する前に、機械のスイッチが切れていることを確かめてください。
14. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・機械を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
15. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーや回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどの部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行ってください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない機械は、使用しないでください。

⚠ 警 告

16. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
17. 機械の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

チェンのみご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、チェンのみをご使用の際には、さらにつきに述べる注意事項を守ってください。

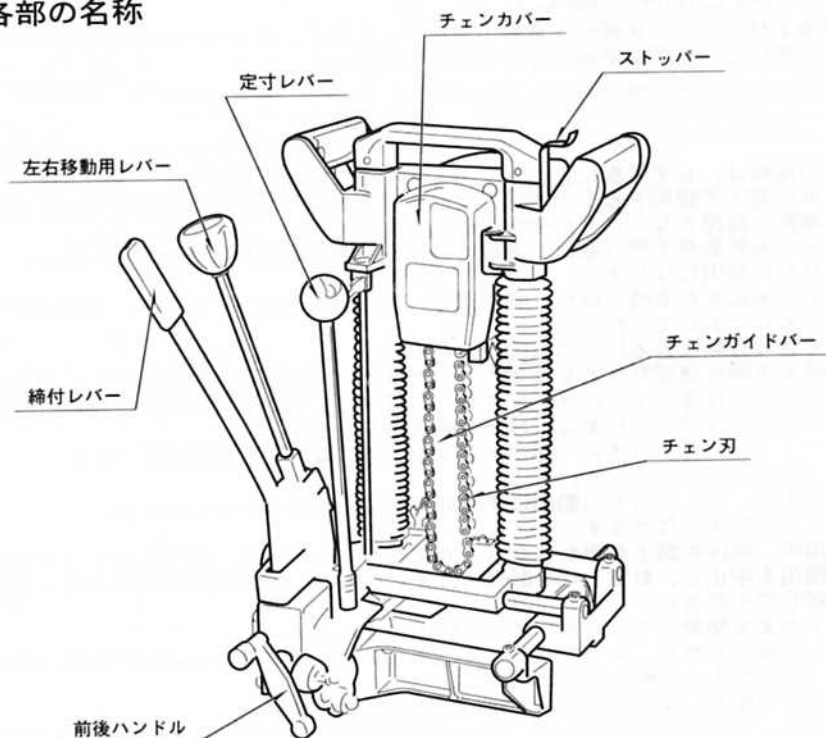
⚠ 警 告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。
 - ・低い電圧で使用すると力不足となり、表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. チェン刃にふれる時（取付、調整時等）は、手袋などを使用してください。
 - ・けがの原因になります。
3. チェン刃にふれる時（取付、調整時等）は、必ずスイッチを切り、プラグを電源からぬいておいてください。
 - ・不意な作動によるけがの原因になります。
4. 使用する時には反発がありますので、両手で確実にハンドルを保持し、身体の安定を保って作業してください。また、バイスでしっかり材料を締付けてください。
 - ・不安定な状態での作業は、けがの原因になります。
5. 作業する際には、身体の一部がチェン刃の下にないことを確認してください。
 - ・けがの原因になります。
6. 使用中は、チェン刃や可動部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
7. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、チェン刃や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
9. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

⚠ 注 意

1. チェン刃や付属品は取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと、正確な穴あけが出来ないばかりでなく、チェン刃が破損したり外れたりし、けがの原因になります。
2. チェン刃の接続部にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・チェン刃が破損したり外れたりし、けがの原因になります。
3. 材料に釘などの異物がないことを確かめてください。
 - ・チェン刃が破損し、けがの原因になります。
4. 貫通穴をあけるときの、チェン刃が地面に当たらないよう材料をしっかりした台の上においてください。
 - ・反発や小石等をとばしたりして、けがの原因になります。

■各部の名称



■仕 様

- 電源…… 単相、交流 100V 50～60Hz
- 電流…… 14A
- 消費電力…… 1,350W
- 無負荷回転数…… 3,400回/分
- 最大切込深さ…… 160mm
- バース能力…… 50～185mm
- 前後移動量…… 125mm
- 左右移動量…… 75mm
- 機体寸法
540mm(高さ)×360mm(幅)×390mm(奥行)
- 重量…… 16kg

■用 途

- 平ホソ穴加工、ヌキ穴加工

■通常付属品

- チェーン刃 (30mm 本体取付)
- 両口スパナ (13×17mm)
- 片口スパナ (24mm)

(注) チェン刃なし仕様では、チェーン刃 (30mm) 及び、片口スパナ (24mm) は付属品としては付いていません。

■別販売品

- チェーン刃 15mm, 16.5mm, 18mm, 21mm, 24mm, 30mm
- 楕型砥石 30mm

チェーン刃セット

- | | |
|-------------------|-----|
| チェーン刃 30mm | × 1 |
| チェーン刃 30mm用ガイドバー | × 1 |
| チェーン刃 30mm用スプロケット | × 1 |
| スプロケットカラー 30A | × 1 |
| スプロケット取外し用スパナ24mm | × 1 |

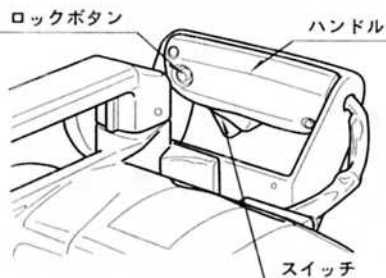
■操作方法

●スイッチ

△ 警 告

- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。低い電圧で使用すると力不足となり、表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- スイッチはトリガータイプです。スイッチを引くとモーターが回転し離すと止まります。連続作業の場合は、スイッチを引いた状態でロックボタンを押すと指を離してもスイッチが入ったままロックされます。切る時は再びスイッチを引いてから離すとロックが解除されモーターは止まります。

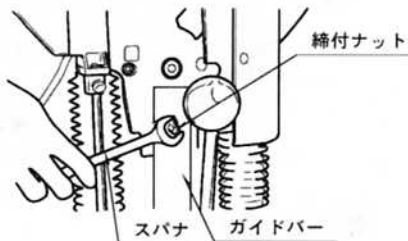


●チェーン刃の取付け・取外し

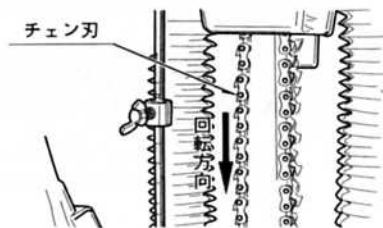
△ 警 告

- ・チェーン刃にふれる時（取付け・調整時等）は、手袋など使用してください。けがの原因になります。
- ・チェーン刃にふれる時（取付け・調整時等）は、必ずスイッチを切りプラグを電源から外しておいてください。不意な作動によるけがの原因になります。

- チェーンカバーを開き、チェーンガイドバーに付いている締付ナットをゆるめます。



- チェーン刃の回転方向は正面から見て左回転ですから刃先はチェーンカバーの左側で下向きになる様に取付けます。



- 締付けナットをゆるめただけでは、チェーン刃が取付けられない場合があります。その際には、チェーンガイドバー後部のチェーンガイドバー調整ボルトをゆるめ、チェーンガイドバーを調整することでチェーン刃を取付けることができます。

(注) チェーン刃取付け後は必ず張り調整を行ってください。(チェーン刃の張り調整の項を参照してください。)

- チェーン刃の取外しは取付けの逆の要領で行なってください。

●チェーン刃の張り調整

⚠ 警告

・チェーン刃にふれる時(取付・調整時等)は、手袋など使用してください。けがの原因になります。

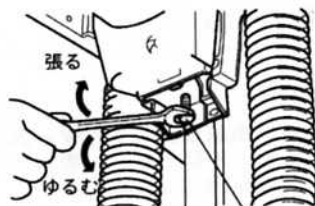
- チェーンガイドバーについている締付けナットをゆるめます。
- チェーンガイドバー後部のチェーンガイドバー調整ボルトを付属のスパナで回すことにより張り調整をおこないます。右に回すと張り、左に回すとゆるみます。

(注) チェーン刃の中央部分をつかみ外側に引張った場合、ガイドバーとチェーン刃の隙間は約7mm程度が最適です。(あまり強く張りますとチェーン刃やモーターに無理を与えます。また逆にゆる過ぎますと角穴が正確にあきませんから注意してください。)

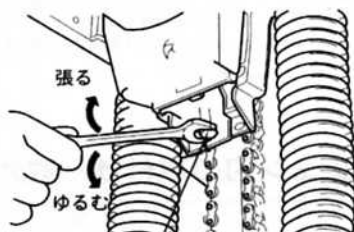
●切込深さ調節

- 切込深さに合わせてストッパー調整を行なってください。ストッパーバーの目盛は有効深さ(刃先の半円部を除いた深さ)を示しております。
- ストッパーの蝶ボルトをゆるめ、ストッパーの上端を切込む深さの目盛に合わせた後、蝶ボルトで締付けてください。

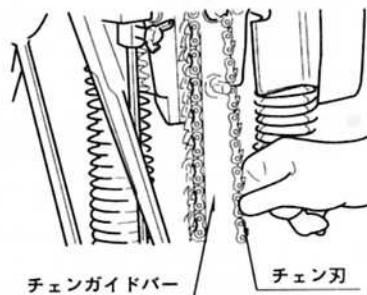
(注) 刃先位置はストッパーバーに印された目盛からさらに26mm深くなります。



チェーンガイドバー調整ボルト

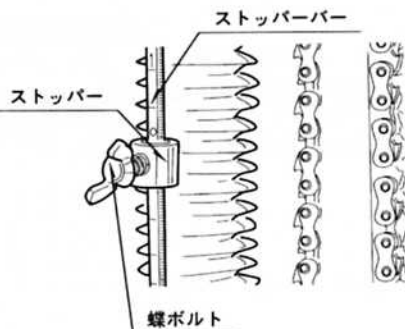


チェーンガイドバー調整ボルト



チェーンガイドバー

チェーン刃



蝶ボルト

●ストッパー

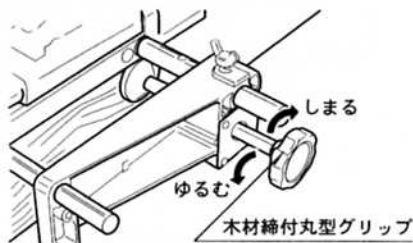
- ストッパーを押さないとチェーン刃は下降しません。
- 加工時にはハンドル部のストッパーを（ハンドル側に）押して、チェーン刃を加工材に押付けてください。

（注）加工しない時（運搬時等）は、ストッパーをかけておいてください。



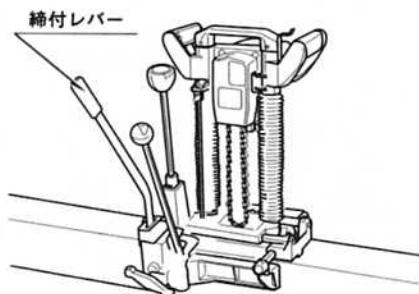
●バイス方法

- 木材締付丸型グリップを回して締付板を木材の側面に近づけ、5mm位の隙間をあけてください。この時、締付レバーは押した状態にしてください。



- 締付レバーを手前に引き、外側に倒してロックします。木材への締付が強過ぎたり、弱過ぎたりした場合は、木材締付丸型グリップで調整してください。

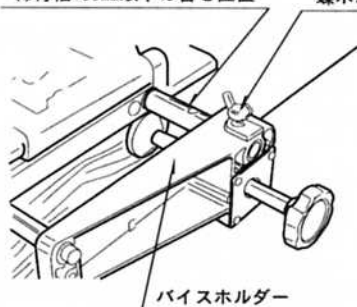
- 本機を移動させる場合には、締付レバーをゆるめ、ハンドルを持ち上げてください。



（130～180mm幅の締付）

- 出荷時には最大締付幅130mmの位置にバイスホルダーをセットしてありますが、130mm幅以上の木材を締付ける際は、蝶ボルトを外してバイスホルダーをセットし直してください。

締付幅130mm以下の合せ位置 蝶ボルト

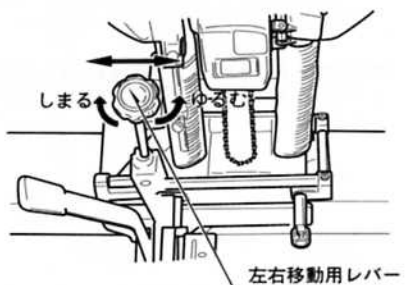
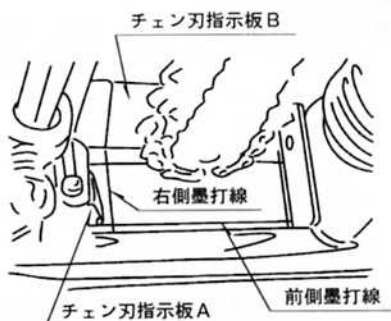
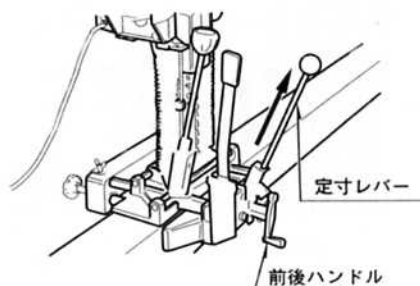


●切削位置合わせ

(前後移動)

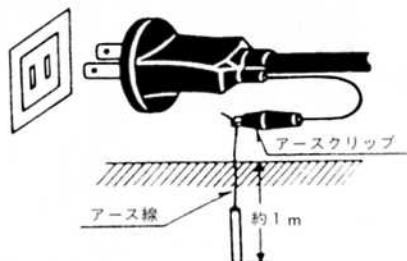
- 木材を締付後、定寸レバーを前方にロックさせます。
定寸レバーは矢印方向に引いて前後に動かしします。
- 前後ハンドルでチェーン刃指示板Aと前後の墨打線を合わせます。
- 左右移動用レバーのグリップを左（ゆるむ）に回し、レバーを左右に動かし、チェーン刃指示板Bと墨打線を合わせ、グリップを右（しまる）に回して締付けます。

(注) グリップの締付けがゆるいと機体が動いて正確な穴があきませんのでご注意ください。



●アースについて

- 感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地（アース）してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと機械の金属部（外部）間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談ください。



● 切削方法

△ 警 告

- ・使用する時は、反発がありますので、両手で確実にハンドルを保持し、身体の安定を保って作業してください。不安定な状態での作業は、けがの原因になります。
- ・作業する際には、身体の一部がチェーン刃の下にないことを確認してください。けがの原因になります。
- ・使用中は、チェーン刃や可動部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。

△ 注 意

- ・材料に釘などの異物がないことを確かめてください。チェーン刃が破損し、けがの原因になります。
- ・貫通穴をあけるとき、チェーン刃が地面に当たらないよう材料をしっかりと台の上においてください。反発や小石等をとばしたりして、けがの原因になります。

- チェーン刃の位置調整が出来ましたらスイッチを入れ、ハンドルを静かにおろしながら、加工します。

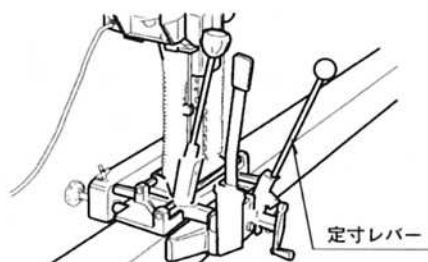
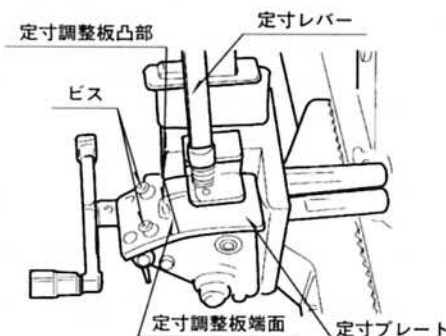
(注) ヌキ穴加工の場合、加工材の表裏に墨打線を入れる必要はなく、表側だけで簡単に加工が出来ます。

(定寸加工)

- 30mm幅の穴をあける場合には、定寸レバーを使用してください。ビス2本をゆるめ定寸調整板の端面を使用するチェーン刃幅と同じ目盛に合わせて、ビス2本で固定します。

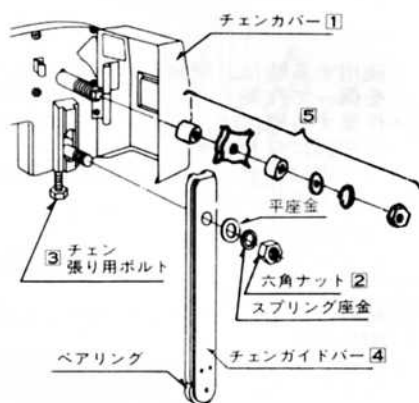
(注) 18mmチェーン刃を使用して、30mm幅の穴をあける場合には、定寸調整板の端面を定寸プレートに刻印された18の線に合わせます。

- 定寸レバーを上に取り上げ、前方に倒してから、定寸レバーをはなすと、定寸調整板の凸部と定寸レバー底の凹部が一致し、定寸レバーはロックされます。この状態で加工した後、定寸レバーを再度引き上げながら手前に引き、定寸プレートの凸部に定寸レバーをロックして加工を行なってください。
幅30mmの加工が簡単に行なえます。



●30mmチェン刃の取付け方法(別販売品)

- まずチェンカバーを開きます。
17mmのスパナで六角ナットを取外し、チェン張り用ボルトをゆるめ、ガイドバーとチェン刃を取外します。
- 30mmチェン刃セットの付属のスパナ (24mm) でスプロケットを固定した後、スパナ (13mm) でナットをゆるめ、スプリング座金、スプロケットワッシャー、スプロケットカラーB (幅9mm)、スプロケット、スプロケットカラーA (幅15mm) の順に取外します。30mm用ガイドバーをスプリング座金と六角ナットで取付けます。次にスピンドルにスプロケットカラー30A (幅12mm)、30mm用スプロケット、スプロケットワッシャー、スプリング座金の順に取付け、スパナ24mmでスプロケットを固定し、スパナ13mmでナットを締付けた後、チェン刃の張りを調節して固定します。



■保守と点検

⚠ 警 告

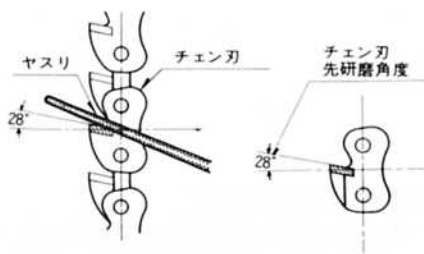
- 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

●各部取付ネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか確認してください。もしゆるみがある場合は締めなおしてください。

●刃物について

- 切込みが重い、穴面がきたない、切味が悪くなった場合は、研磨してください。ヤスリにて荒砥ぎし、別販売品のくし型砥石を用いて仕上げ砥ぎを行ないます。砥石は平面に置き、チェーン刃をつまんで図のようにチェーン刃を左右に砥石の上を10～15回ぐらいスライドして研磨をします。



- (注) 砥石には充分油をつけてください。砥石で砥いても切れ味の悪い場合や、チェーン刃の先端が欠けた場合お買い上げ販売店またはリョービ販売営業所へ研磨をご依頼ください。



●使用後の手入れ

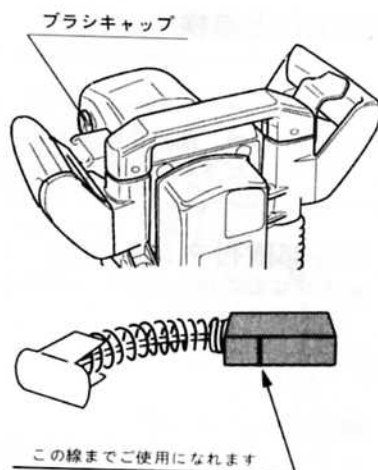
- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届くところはさけてください。

●カーボンブラシについて

- カーボンブラシは消耗品です。全長の $\frac{1}{3}$ （線の入った位置）程度に摩耗したら、新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用しますと、モーター焼損の原因となる場合があります。
- カーボンブラシの交換はブラシキャップを⊖ドライバーで取外せば簡単に行なえます。
- カーボンブラシは2個1セットです。交換される時は指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
- その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社